

# 国語科 DP 日本語 A 文学 HL Unit Planner

東京学芸大学附属国際中等教育学校

授業担当者	浅井 悦代	教科・科目名	国語科 DP 文学 HL
単元名	文学が果たす役割を探究する	対象学年	6年（高校3年）
IBDP の該当単元	DP 文学のパート3「指定作家リスト」(PLT)の中から異なるジャンルの4作品を学習し、物語の設定や文体、表現技法、歴史的背景などの観点について比較対比をおこなう。	生徒数	17名
学習指導要領の該当単元	「現代文B」 <内容>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 <言語活動例>エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	授業時間数	20時間

探究：単元の目的を設定する。 **INQUIRY: establishing the purpose of the unit**

## 学習目標 Transfer goals

List here one to three big, overarching, long-term goals for this unit. Transfer goals are the major goals that ask students to “transfer”, or apply, their knowledge, skills, and concepts at the end of the unit under new/different circumstances, and on their own without scaffolding from the teacher.

1. 文学の機能とは何かについて、歴史認識や社会的文脈との関連において考察する。
2. 文学作品において視点や表現技法がどのように用いられているかを読み解き、作品の主題との関わりについて批評する。
3. 文学作品が人間の生の多様な側面を芸術に昇華させることの意味を考察する。
4. 図書館の資料を利用し文学作品を多角的に分析し、批判的な思考を持って探究する。

## 重要事項 Essential understandings

List here the key content/skills/concepts that students will know/have at the end of the unit

<学習内容><スキル><概念>に分けて記入。

### <学習内容> Students will know the following content:

- ・遠藤周作『沈黙』という文学作品において「作品の成立年代の文脈」、「歴史的背景」、「小説の機能」「作者について」「日本と西欧の比較（文化・信仰・風土）」「キリスト教」、「日本におけるキリスト教の受容」の観点から分析する。
- ・文学作品に描き込まれた「信仰」という事象が、人間や社会の価値観や行動にどのような影響を与えているかを考察する。
- ・4作品 遠藤周作『沈黙』、森鷗外『舞姫』、安部公房『砂の女』、中島敦『山月記』の主題を8観点「語り・人称」、「キャラクター」、「文体」、「時間軸」、「設定・場所」、「引きつける工夫」、「ステレオタイプ」、「小説の技法」から比較対比する。
- ・「文学との対話を通じて、自己の生き方を振り返る。それによって、人間の営み(不安や畏れ)と対峙していく。

### <スキル> Students will develop the following skills:

- ・批判的思考スキル：事実に基づき時事的で概念的な議論の余地のある問題を提起する。
- ・転移スキル：多様なものの見方を身につけるために様々な文脈における文学作品の果たす役割を関連づけ探究する。
- ・振り返りスキル：文学作品の分析を通して価値観や自己の生き方を振り返る。

### <概念> Students will grasp the following concepts:

Context：文化的背景、Audience：読み手、Variation：文体、Perspective：ものの見方

## 探究の問い Inquiry questions

### Content-based:

- ・人生の不条理が文学ではどのように描かれているのか。

### Skills-based:

- ・文学作品は読み手の価値観にどのような影響を与えているのか。

### Concept-based:

- ・文学が果たす普遍的な役割は何か。

目標 (学習評価に使用する規準を挙げる)	総括的評価 Summative assessment	
規準A 知識と理解 規準B 文学的表現技法についての認識 規準C 構成と展開 規準D 言語	Outline of summative assessment task(s) including assessment criteria: 規準A 知識・理解：論評（コメンタリー） ①作品の歴史的、社会的なコンテキストについて、文学作品の主題を理解したか。 ②作品を社会的文脈の中に位置づけて解釈できたか。 規準B 文学的表現技法 ・言葉・表現・文脈・文体などに着目して作品を分析的・批判的に読むことができたか。 規準C 構成：論評（コメンタリー） ・考えが効果的に論理的に述べているか。 規準D 言語：論評 ・言葉遣いがどの程度、明確、かつ的確であるかどうか。	Relationship between summative assessment task(s) and statement of inquiry: <input type="checkbox"/> 作品比較を通して、文学の果たす役割を考察できたか。 <input type="checkbox"/> 作品の表現技法を踏まえて、文学作品の主題を理解できたか。 <input type="checkbox"/> 作品の社会的、歴史的なコンテキストを踏まえて、文学作品の主題を理解できたか。

**活動：探究を通じた教授と学習 ACTION: teaching and learning through inquiry**

学習内容・スキル・概念 Content/skills/concepts	学習過程 Learning process
<p><u>&lt;学習内容&gt; Students will know the following content:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠藤周作『沈黙』という文学作品において「作品の成立年代の文脈」、「歴史的背景」、「小説の機能」「作者について」「日本と西欧の比較（文化・信仰・風土）」「キリスト教」、「日本におけるキリスト教の受容」の観点から分析する。</li> <li>・文学作品に描き込まれた「信仰」という事象が、人間や社会の価値観や行動にどのような影響を与えているかを考察する。</li> <li>・西欧における宗教を通して西欧の受容について深く考察し、東西の文化比較を相対的に探る。</li> <li>・4作品 遠藤周作『沈黙』、森鷗外『舞姫』、安部公房『砂の女』、中島敦『山月記』の主題を8観点「語り・人称」、「キャラクター」、「文体」、「時間軸」、「設定・場所」、「引きつける工夫」、「ステレオタイプ」、「小説の技法」から比較対比する。</li> <li>・「文学との対話を通じて、自己の生き方を振り返ることによって、人間の営み(不安や畏れ)と対峙する。</li> </ul> <p><u>&lt;スキル&gt; Students will develop the following skills:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・批判的思考スキル：事実に基づき時事的で概念的な議論の余地のある問題を提起する。</li> <li>・転移スキル：多様なものの見方を身につけるために様々な文脈における文学作品の果たす役割を関連づけ探究する。</li> <li>・振り返りスキル：文学作品の分析を通して価値観や自己の生き方を振り返る。</li> </ul> <p><u>&lt;概念&gt; Students will grasp the following concepts:</u></p> <p><b>Context</b> : 文化的・歴史的背景、<b>Audience</b> : 読み手、<b>Variation</b> : 文体、<b>Perspective</b> : ものの見方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学作品に描かれた文化的・歴史的背景を理解し、作品の主題を探究する。</li> <li>・文学作品の本質を追究するために、複数の文学作品を関連付け比較対比し、多様なものの見方を身に付ける。</li> <li>・読み手は文学との対話を通して表象された人間の営みや不安、畏れと向かいあい、自己の在り方に対峙する。</li> </ul>	<p>Learning experiences and strategies/planning for self-supporting learning:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Lecture  <input type="checkbox"/> Socratic seminar  <input checked="" type="checkbox"/> Small group/pair work  <input type="checkbox"/> Powerpoint lecture/notes  <input type="checkbox"/> Individual presentations  <input type="checkbox"/> Group presentations  <input checked="" type="checkbox"/> Student lecture/leading  <input checked="" type="checkbox"/> Interdisciplinary learning</p> <p><b>Details: (学習過程)</b></p> <p>第一次 【3時間】</p> <p>①夏休みの課題に「作品の成立年代の文脈」、「歴史的背景」、「小説の機能」「作者について」「日本と西欧の比較（文化・信仰・風土）」「キリスト教」、「日本におけるキリスト教の受容」について振り返りをする。</p> <p>②図書館の資料を用いてリサーチを深める。</p> <p>本時以降も、継続する。</p> <p>第二次 【7時間】</p> <p>①文学作品に描き込まれた「信仰」という事象が、人間の価値観や行動にどのような影響を与えているのか「歴史的背景」から考察する。</p> <p>②西欧における宗教を通して西欧の受容を「文化的背景」において位置づけて理解した場面を整理する。</p> <p>③「沈黙」というキーワードに着目し、作品における「沈黙」の表象について分析・解釈する。</p> <p>④ 『沈黙』を8場面に分け、2、3人のグループであらすじや前時までに分析・解釈したことを発表する。</p> <p>⑤ 各自の解釈を対象として相互に質疑を行い、解釈の妥当性について議論する。</p> <p>第三次【6時間】</p> <p>①4作品 遠藤周作『沈黙』、森鷗外『舞姫』、安部公房『砂の女』、中島敦『山月記』の主題を次の8観点「語り・人称」、「キャラクター」、「文体」、「時間軸」、「設定・場所」、「引きつける工夫」、「ステレオタイプ」、「小説の技法」から比較対比する。</p>

	<p>② 上記8観点から2、3人のグループ毎に観点を選び前時までに分析・解釈したことを発表する。</p> <p>③ 各自の解釈を対象として相互に質疑を行い、解釈の妥当性について議論する。</p> <p>第四次【4時間】</p> <p>①人生の不条理が、様々な文学作品の中でどのように表象されてきたかを比較対比する。</p> <p>②文学の役割について考える。</p> <p>③ 作品解釈と議論を踏まえて、人生の不条理が、様々な文学作品の中でどのように表象されてきたかを比較対文学作品における表象されているか、またその表象の仕方（され方）が表す意味について論述する。</p> <p>④ 論述したものを互いに読み合い、コメントで評価する。</p>
	<p><b>形成的評価 Formative assessment:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品を読み解くための社会的背景／歴史的背景に関するリサーチ（レジюме）</li> <li>・ リサーチに基づく発表（プレゼンテーション）をする。</li> <li>・ 文学の果たす役割について多面的な理解を確認するための議論の内容と議論の経過を確認する。</li> </ul>

**学習の方法 Approaches to learning (ATL)**

(該当するものに☑し、その詳細を記入する。)

**Thinking**

- ・ 批判的思考スキル： 事実に基づき時事的で概念的な議論の余地のある問題を提起する。
- ・ 転移スキル： 多様なものの見方を身につけるために様々な文脈における文学作品の果たす役割を関連づけ探究する。
- ・ 振り返りスキル： 文学作品の分析を通して価値観や自己の生き方を振り返る。

**Social**

- ・ 協働スキル： ①他者の見解や考えに積極的に耳を傾ける。 ②意味のあるフィードバックを与え、また受け取る。

**資料 Resources**

書籍

貼付してある書籍ファイルを参照。

教科書

- ・ 『沈黙』 遠藤周作 新潮文庫

**振り返り REFLECTION: Considering the planning, process and impact of the inquiry**

What worked well	What didn't work well	Notes/changes/suggestions:
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『沈黙』に関する図書館資料が身近にあることにより（使用教室にカートを設置）、情報を多角的にリサーチし分析して発表に結びつけることができた。批判的な思考を持って探究した。</li> <li>・ その結果他の作品との比較対比をより明確な批判的な思考を持ちおこなえた。</li> </ul>	<p>2018年7月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に認定されたことと絡めることが不十分であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018年7月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に認定されたことと絡める。</li> <li>・ 歴史的背景における「隠れ切支丹」や「地域（長崎と天草地方）」を鑑みることは、西欧と日本文化の比較の一助となるのではないか。</li> </ul>

**Transfer goals**  
List the transfer goals from the beginning of this unit planner.

今回の単元の目的は「文学が果たす役割を探究する」ことである。Part 4における最後の作品『沈黙』を以前学習した3作品 森鷗外『舞姫』、安部公房『砂の女』、中島敦『山月記』と関連付け比較対比することにより、「ものの見方」という概念へ広げる。最終的には、「文学」との対話を通じて、自己の生き方を振り返る。そこから、人間の営み(不安や畏れ)と対峙することを目標とする。

**Transfer reflection**  
How successful were the students in achieving the transfer goals by the end of the unit?

.